

## 選定基準別提案内容と事業実績の確認

施設名	宮ヶ瀬やまなみセンター
指定管理者名	公益財団法人宮ヶ瀬ダム周辺振興財団
指定期間	R3.4.1 ~ R8.3.31
施設所管課	土地水資源対策課

選定基準大項目	評価項目				審査(評価)の視点(C)	提案内容(D)	指定期間 令和3年度の事業実績(E)	所管課による課題分析等(F)	事業実績の確認方法(G)				
	選定基準中項目(A)	小項目(B)	配点	選定時の評価点					実績報告書	現地※	その他		
I サービスの向上	(1)	指定管理業務実施にあたっての考え方、運営方針等	〇指定管理者としての基本姿勢及び委託の考え方	5	4	〇宮ヶ瀬湖周辺地域の成り立ちを踏まえた指定管理業務全般を通じての総合的な運営方針、考え方	〇宮ヶ瀬ダムが、神奈川県最後の水がめとして、周辺地域・住民の多大なる理解と協力により建設されたという歴史的経緯を踏まえ、運営管理にあたっては、関係自治体や地域の活動団体と連携を図りながら、3施設全体の広域的・効果的な活用や活性化及び自然環境の保全に努めるとともに、安全快適な利用環境を維持する。	・宮ヶ瀬湖周辺4市町村等で構成される理事会を開催し、財団の管理運営方針を説明した。 ・関係自治体や宮ヶ瀬湖周辺地域で活動するNPO法人等と連携して、自然体験教室などの事業を展開し、水源地域の大切さや自然とのふれあいの大切さなどの理解促進を図った。	・提案書に従って、適切に実施している。 ・指定管理者である宮ヶ瀬ダム周辺振興財団は、当該地域の活性化の促進等のため、設立当初から30年近くにわたり、国、県、市町村、民間企業等と連携した活動を行っており、連携体制が構築されている。	○	○	○	月例業務報告書
						〇宮ヶ瀬湖の水質の保全、周辺地域の自然環境の保全と充実等を図りながら、併せて周辺地域の振興・活性化を図ることへの取組方針	〇宮ヶ瀬湖周辺地域の活性化に向け、地元の各種団体やNPO法人等と連携し、豊かな自然や伝統工芸といった地域資源を活用した魅力ある取組みを実施することで、観光客の増加を図る。	・大規模イベントとして定着していた「みやがせフェスタ」について、地元団体等と連携を図りながら、感染対策に配慮した開催方法で実施した。 ・地元団体等が開催するイベントの実行委員会に、支援を行った。	・提案書に従って、適切に実施している。 ・大規模事業は大人数を一か所に集める開催方法を変更し、AR(拡張現実)を用いて、分散型・周遊型のイベントとすることで、感染症拡大防止対策に配慮しつつ活性化の実績に繋がった。	○	○	○	月例業務報告書
	(2)	施設の維持管理	〇施設の特性を踏まえた維持管理	5	4	〇やまなみセンター(別館含む)、集団施設地区及び鳥居原園地、カヌー場にかかる清掃業務、保守点検業務、受付業務、警備業務等の維持管理業務及び自然公園施設の植物管理等についての実施方針	〇やまなみセンター本館は、宮ヶ瀬湖周辺地域の交流拠点施設として、多くの利用者の憩いの場となっていることから、施設や設備の保守管理を適正に実施するのみならず、景観に配慮した維持管理を行う。	・保守点検や清掃等については計画に則り適切に実施した。 ・景観向上を図るため入口や屋上にプランターを設置し、草花を植え付けた。	・提案書に従って、適切に実施している。 ・県からの要請を受け、感染拡大期間に休館する等、新型コロナウイルス感染症拡大防止に適切に対応した。	○	○	○	月例業務報告書
						〇やまなみセンター別館は、水の郷商店街と県道に面しており、利用者が最初に訪れる施設のため、周辺の観光・交通・イベント等の情報をワンストップで提供する。	・別館は総合案内施設として、広報チラシの配布等を行うとともに、周辺の観光、交通、イベント等の情報をワンストップで発信した。	・提案書に従って、適切に実施している。 ・県からの要請を受け、感染拡大期間に休館する等、新型コロナウイルス感染症拡大防止に適切に対応した。	○	○	○	月例業務報告書	
						〇3施設を一体的に運営することによる効果的・効率的な維持管理の考え方	〇点検や清掃等の委託業務について、3施設一体で発注することにより、効率的に実施する。	・清掃業務、害虫駆除、警備、消防や空調設備の維持管理、消臭機器交換においては合併発注を行い、業務の効率化と経費の節減を図った。	・提案書に従って、適切に実施している。 ・今後も、今までの蓄積されたノウハウを活かし、合併発注等による効果的な実施、経費節減につなげてほしい。	○	○	○	月例業務報告書
	(3)	利用促進のための取組、利用者への対応、利用料金	〇個々の施設の特性を活かした利用促進のための企画・取組	20	16	〇やまなみセンター(別館含む)について、周辺地域の活性化と水源環境の理解促進のための広域交流拠点という役割を踏まえた、企画・取組	〇やまなみセンター本館は、宮ヶ瀬湖集団施設地区を見渡せるという立地を活かし、誰もが利用しやすい休憩スペースとしての利便性の向上に努める。	・分散型・周遊型の「みやがせフェスタ」を実施するなど、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮しつつ、地域活性化に取り組んだ。 ・周辺地域情報、写真コンテスト入賞作品を展示し、宮ヶ瀬の魅力を発信した。 ・地元関係団体との調整会議の場として、研修会議室を利用した。	・提案書に従って適切に実施している。	○	○	○	月例業務報告書
						〇やまなみセンター(別館含む)は、宮ヶ瀬湖周辺地域の交通・観光・自然情報をワンストップで提供し、利用者の利便性の向上に努める。併せて、新たに「自転車の駅」、「クラフトコーナー」、子ども用の「遊びのスペース」を設け、多くの利用者が楽しめる場を提供する。	・宮ヶ瀬湖周辺地域の交通・観光・自然情報をワンストップで提供し、利用者の利便性の向上に努めるため別館を運営した。 ・「自転車の駅」、「クラフトコーナー」等を設け、利用者が楽しめる場を提供した。	・提案書に従って適切に実施している。	○	○	○	月例業務報告書	
						〇やまなみセンター 施設利用者数 令和3年度目標 252,730人	・やまなみセンター施設利用者数 結果 130,776人(▲121,954) 本館 76,682人 別館 54,094人	・新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う休館等により、施設利用者数は落ち込んだが、イベント開催方法の工夫等により、休館期間が半年以上と長期にわたった割に、利用者数の減少が抑えられたことは評価できる。	○	○	○	月例業務報告書	
			〇現状分析・課題把握			〇現状の分析や課題の把握	<課題 来訪者数の増加> 〇SNS等を活用した広報の実施、DMO事業として実施している広域的なクーポンの配布、企業や団体等と連携した魅力的なイベントの実施など、新たな方法により集客促進に取り組む。	・企業と共同企画したバスツアーやモバイルスタンプラリーを実施した。 ・新たな観光資源の掘り起こしを行うなど、集客促進に取り組んだ。 ・地域活性化のため、宮ヶ瀬湖周辺の地酒のイベントに助成した。	・提案書に従って適切に実施している。	○	○	○	月例業務報告書



評価項目					審査（評価）の視点 (C)	提案内容 (D)	指定期間 令和3年度の事業実績 (E)	所管課による課題分析等 (F)	事業実績の確認方法 (G)				
選定基準 大項目	選定基準中項目 (A)	小項目 (B)	配点	選定時の 評価点					実績報 告書	現地※	その他		
I サービスの向上	(3)	利用促進のための取組、利用者への対応、利用料金	20	16	○一体的に運営することにより可能となる利用促進のための企画・取組	○宮ヶ瀬湖周辺施設はもとより、近隣のあいかわ公園も活用した大規模なイベントを季節に応じて実施することで、宮ヶ瀬の自然の豊かさを多くの方に体験してもらう場を提供する。	・分散型・周遊型の「みやがせフェスタ」を実施するなど、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮しつつ、地域活性化に取り組んだ。【再掲】	・提案書に従って概ね適切に実施している。	○	○	○	月例業務報告書	
						○地域活性化事業として、郷土工芸、郷土料理、農林体験等を利用した小規模なイベントを開催する。	・しいたけ体験教室や和紙のうちわ作り、星空観測会などの小規模イベントを実施した。	・提案書に従って適切に実施している。	○	○	○	月例業務報告書	
						○独自の企画提案に基づく指定管理業務の目標参加者数（令和3年度）44,800人	・独自の企画提案に基づく指定管理業務の参加者数（令和3年度）117,345人	・大規模事業は大人数を一か所に集める開催方法を変更し、AR（拡張現実）を用いて、分散型・周遊型のイベントとすることで、感染症拡大防止対策に配慮しつつ活性化の実績に繋がった。【再掲】	○	○	○	月例業務報告書	
					○広報、PR活動	○宮ヶ瀬湖周辺地域の景色を対象とした写真コンテストを実施し、受賞作品をカレンダーにすることで、自然の豊かさや四季の美しさをビジュアルにより広くアピールする。	・写真コンテストを実施し、作品審査会についても、オンラインアルバムを活用して、審査委員を集めることなく行った。	・提案書に従って適切に実施している。	○	○	○	月例業務報告書	
						○宮ヶ瀬湖周辺地域情報をホームページ・SNSの活用により情報を提供する。	・SNS上で「宮ヶ瀬愛ちゃんねる」と称した動画番組を開設し、自然、観光、グルメ、イベントなどの情報を発信した。更に、「サンキュービーバー～宮ヶ瀬探偵事務所（仮）～」という宮ヶ瀬湖周辺地域をロケ地にしたオリジナルドラマを製作した。	・提案書に従って適切に実施している。 ・SNSを利用した広報やPR活動に関して、コロナ禍における集客につながる様々な取組みを工夫している点は評価できる。	○	○	○	月例業務報告書	
						○接客、苦情処理、利用者ニーズの把握	○利用者ニーズや苦情はデータベース化することにより、職員間の情報共有を図るとともに、必要な改善や次年度以降の計画へ反映する。	・利用者からの問い合わせや苦情等の意見は、月毎にデータとしてまとめて、施設間で共有し、利用者へのサービス向上に役立てた。 ・利用者満足度調査を実施した。	・提案書に従って適切に実施している。 ・利用者満足度調査における施設を利用したサービス内容の総合的な満足度で、「とてもよい」「よい」の回答割合が99.0%と非常に高かったことは評価できる。引き続き利用者ニーズの把握やより適切なサービス提供に努めてもらいたい。	○	○	○	月例業務報告書
	○外国人や障害者、高齢者等多様な利用者に対応できる体制整備や研修等に取り組む。	・財団が独自に運営しているホームページに英語版「宮ヶ瀬湖周辺3拠点マップ」を掲載するとともに、窓口においてもタブレットやコミュニケーションボードを設置し、多様な利用者に対応した。 ・県が主催する「心のバリアフリー推進員養成研修」に参加し、研修結果を財団内研修で周知した。	・提案書に従って適切に実施している。 ・障害者等多様な利用者に対応する取組みを積極的に実施していることは評価できる。	○	○		○	月例業務報告書					
		○手話に対応できる体制の整備や研修・講習を行う。	・外部講師を招き、職員を対象に「手話講習会」を開催した。聴覚障害者についての知識を深めるとともに安心して利用できる環境づくりに努めた。	・提案書に従って適切に実施している。	○		○	○	月例業務報告書				
	○利用料金	○やまなみセンターと集団施設地区等の利用料金については、近隣の類似施設との均衡と利用の促進を図るため、条例に定められた上限額より安く設定する。	・対象施設については、やまなみセンター研修会議室、集団施設地区野外音楽堂、駐車場の利用料金についても近隣類似施設との均衡を図った。	・提案書に従って、適切に実施している。	○	○	○	月例業務報告書					
		○減免基準については、各施設の設置目的に鑑み、宮ヶ瀬湖周辺地域の自然の保全や活性化のために公共団体等が利用する場合は減免することとする。	・施設毎に、減免基準を設け運用した。	・提案書に従って、適切に実施している。	○	○	○	月例業務報告書					
	(4)	事故防止等安全管理	○事故防止等安全管理	10	8	○通常の指定管理業務を行う際の事故防止等の取組内容 ○事故・不祥事等の緊急事態が発生した場合や安全管理の妨げとなりうる事案を認知した際の対応方針（利用者に外国人や障害者、高齢者が含まれていた場合の対応方針を含む） ○水難事故等の緊急事態発生時の県及び地元自治体等との連携についての考え方 ○急病人等が生じた場合の対応・救急救命士の配置、救命に関する職員研修等	○利用者の事故防止へ向けてマニュアルの整備や職員研修の実施、敷地内のパトロールの実施やヤマビルへの予防策を行う。	・3施設及びダムサイトあいかわ公園、水とエネルギー館を対象とした「宮ヶ瀬湖周辺園地防災マニュアル」により体制を整え、運用した。 ・環境省の熱中症警報等を元に、職員及び来訪者の熱中症対策に努めた。 ・万一の場合を想定し、施設ごとに虫除けスプレー、ヒル忌避剤、ポイズンリムーバー、経口補水液を常備し、職員や来訪者の安全に努めた。	・事故防止等の体制づくりについては、提案書に従って、適切に実施していることから評価できる。 ・令和3年度は、大きな事故等はなかったが、突発的な事故に対応できるように、恒常的な体制維持に努めてほしい。	○	○	○	月例業務報告書
							○様々な緊急事態を想定し、避難誘導や通報手順を定め、外国人や障害者、高齢者を含む利用者が円滑に避難できるようマニュアルを見直し、バリアフリーな避難経路の確保や手話研修を進める。	・3施設及び3地区及び周辺管理者を含めた防災訓練を実施した。 ・緊急時には、速やかに現場確認及び利用制限を実施する体制を構築し、園内放送による来訪者への周知体制や、無線を使用した施設間・職員間の連絡体制を整備した。 ・外国人や障害者、高齢者が円滑に避難できるようマニュアルを見直し、車いすによる避難補助、バリアフリーな避難経路の確保、手話研修を行った。	・提案書に従って、適切に実施している。	○	○	○	月例業務報告書
○水難事故等の緊急事態を想定した訓練を定期的実施する。							・遊覧船火災を想定して訓練を行った。	・提案書に従って、適切に実施している。	○	○	○	月例業務報告書	
○利用者の救急救護のため、救急救命士等有資格者の採用・配置や職員への救命講習の実施する。							・救命講習会（AED）を実施し来訪者の安全対策向上に努めた。	・提案書に従って、適切に実施している。	○	○	○	月例業務報告書	



評価項目					審査（評価）の視点 （C）	提案内容 （D）	指定期間 令和3年度の事業実績 （E）	所管課による課題分析等 （F）	事業実績の確認方法 （G）			
選定基準 大項目	選定基準中項目 （A）	小項目 （B）	配点	選定時の 評価点					実績報 告書	現地※	その他	
I サービスの向上	(5)	地域と連携した魅力ある施設 づくり	10	8	<p>○施設の特性を踏まえた地域の人材の活用、地域関係団体・地元市町村との協力体制の構築及びボランティア団体等の育成・連携の取組内容</p> <p>○地元企業への業務委託等による迅速かつきめ細かいサービスの提供に向けた取組内容</p> <p>○他の宮ヶ瀬湖周辺施設との連携・交流</p> <p>○集客促進や地域の活性化につながる企画や取組</p> <p>○施設づくりに対する地域住民の参加の考え方</p>	<p>○宮ヶ瀬湖周辺市町村等で構成する理事会や「宮ヶ瀬クリスマスみんなのつどい」等イベントに積極的に関わる。</p>	<p>・宮ヶ瀬湖周辺4市町村等で構成される理事会を開催し、財団の管理運営方針を説明した。</p> <p>・「宮ヶ瀬クリスマスみんなのつどい」が2年ぶりに開催され、地元関係機関と調整を図りながら積極的に関与した。</p>	<p>・提案書に従って、適切に実施している。</p> <p>・指定管理者である宮ヶ瀬ダム周辺振興財団は、当該地域の活性化の促進等のため、設立当初から30年近くにわたり、国、県、市町村、民間企業等と連携した活動を行っている。</p>	○	○	○	月例業務 報告書
						<p>○地元企業は財団の業務内容を熟知し、関係団体への調整も円滑に行うことができるため、委託先の選定では地元市町村企業を優先する。</p>	<p>・委託業務は、地元企業を優先に選定し、専門的な事業は専門業者へ委託した。</p> <p>・地域の雇用創出として、優先して地元市町村からの採用に努めた。</p>	<p>・提案書に従って、適切に実施している。</p>	○	○	○	月例業務 報告書
						<p>○あいかわ公園や鳥居原園地のふれあいの館等と連携して「みやがせフェスタ」などのイベントを開催する。</p>	<p>・分散型・周遊型の「みやがせフェスタ」を実施するなど、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮しつつ、地域活性化に取り組んだ。【再掲】</p>	<p>・提案書に従って、適切に実施している。</p>	○	○	○	月例業務 報告書
						<p>○宮ヶ瀬地域連携DMO法人として、宮ヶ瀬湖周辺DMO推進ネットワーク会議等の開催やダム貯蔵酒の販売プロデュースを行っていく。</p>	<p>・宮ヶ瀬湖周辺DMO推進ネットワーク会議を企画開催し、情報共有とともに連携協力を図った。</p> <p>・「宮ヶ瀬ダム監査廊の利活用による地域活性化事業」に取り組み、2つの酒蔵の日本酒の貯蔵を行った。</p>	<p>・提案書に従って、適切に実施している。</p> <p>・DMOとしても登録されていることから、より地域と連携した地域活性化が期待される。</p>	○	○	○	月例業務 報告書
						<p>○様々な関係者との交流等を目的とした活動団体交流会を開催する。</p>	<p>・活動団体交流会を宮ヶ瀬やまなみセンターにおいて開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。</p>	<p>・新型コロナウイルス感染症拡大防止に適切に対応した。来年度開催に向け調整してほしい。</p>	○	○	○	月例業務 報告書
III 団体の業務遂行能力	(6)	コンプライアンス、社会貢献	5	3	<p>○指定管理業務を実施するために必要な団体の企業倫理・諸規程の整備、施設設備の維持管理に関する法規や労働関係法規などの法令遵守の徹底に向けた取組の状況（労働条件審査の実施予定など施設職員に係る労働条件の確認の有無を含む）</p>	<p>○宮ヶ瀬湖周辺地域の振興と発展に寄与するよう倫理規定や職員の就業等諸規定を定め、公正かつ適切な事業運営を行う。</p>	<p>・宮ヶ瀬湖周辺地域の振興と発展に寄与するよう倫理規定を定めるとともに、財団諸規程を定め適正な事業運営を行った。</p>	<p>・提案書に従って、適切に実施している。</p>	○	○	○	月例業務 報告書
					<p>○指定管理業務を行う際の環境への配慮の状況</p> <p>○法定雇用率の達成状況等、障害者雇用促進の考え方と実績</p> <p>○障害者差別解消法に基づく合理的配慮など、「ともに生きる社会かながわ憲章」の主旨を踏まえた取組についての考え方</p> <p>○外国人、障害者、高齢者等誰もが円滑に施設利用するための、コミュニケーションにおける工夫及び必要に応じた支援の方針</p> <p>○手話言語条例への対応</p> <p>○社会貢献活動等、CSRの考え方と実績、SDGs（持続可能な開発目標）やESD（持続可能な開発のための環境教育推進）への取組</p>	<p>○宮ヶ瀬湖周辺地域は、県立丹沢大山自然公園の特別地域に指定されており、関連法令による行為の制限や規制が定められていることから、施設管理や地域活性化業務の実施に当たり、関係法令の趣旨を十分に理解したうえで、適正な執行を図る。</p>	<p>・宮ヶ瀬湖周辺地域は、神奈川県自然公園条例により県立丹沢大山自然公園の特別地域に指定されており、様々な規制が定められているため、関係法令の理解に努めるとともに所管課と十分調整しながら管理運営を行った。</p>	<p>・提案書に従って、適切に実施している。</p>	○	○	○	月例業務 報告書
					<p>○神奈川の水源地域の保全と活性化を担う公益財団法人として、環境負荷軽減のため、省エネや資源の有効活用に取り組む。</p>	<p>・環境負荷軽減のため、刈草の堆肥化や廃材等の有効活用、洗剤やトイレトーパー等のグリーン調達を積極的に行った。</p> <p>・夏季については、グリーンカーテンの設置を行い室温の上昇を抑え省エネに取り組んだ。</p>	<p>・提案書に従って、適切に実施している。</p>	○	○	○	月例業務 報告書	
					<p>○地元関係機関と連携して、障害者雇用機会に積極的に取り組む。</p>	<p>・障害者雇用に向けて積極的に募集したが、雇用実現には至らなかった。</p>	<p>・今後も取り組みを続けて欲しい。</p>	○	○	○	月例業務 報告書	
					<p>○県所管課と調整し「ともに生きる社会かながわ憲章」のパネル展を開催する。</p>	<p>・多くの来訪者が見込めるクリスマスの時期に合わせて、「ともに生きる社会かながわ憲章」のパネル展を実施し、憲章の周知及びともに生きる社会の実現に貢献した。</p>	<p>・提案書に従って、適切に実施している。</p>	○	○	○	月例業務 報告書	
					<p>○外国人や障害者、高齢者等多様な利用者に対応できる体制整備や研修等に取り組む。【再掲】</p>	<p>・財団が独自に運営しているホームページに英語版「宮ヶ瀬湖周辺3拠点マップ」を掲載するとともに、窓口においてもタブレットやコミュニケーションボードを設置し、多様な利用者に対応した。</p> <p>・県が主催する「心のバリアフリー推進員養成研修」に参加し、研修結果を財団内研修で周知した。【再掲】</p>	<p>・提案書に従って適切に実施している。【再掲】</p>	○	○	○	月例業務 報告書	
					<p>○手話に対応できる体制の整備や研修・講習を行う。【再掲】</p>	<p>・外部講師を招き、職員を対象に「手話講習会」を開催した。聴覚障害者についての知識を深めるとともに安心して利用できる環境づくりに努めた。【再掲】</p>	<p>・提案書に従って適切に実施している。【再掲】</p>	○	○	○	月例業務 報告書	
					<p>○民間企業による集団施設地区等への植樹や花壇整備といったCSR事業に対し、作業の技術指導や機材の貸与といった支援を積極的に行う。</p>	<p>・園地管理員や森林インストラクターによる指導やスコップ等の器材の貸出等を行うなど受け入れ体制を確保した。</p>	<p>・提案書に従って、適切に実施している。</p>	○	○	○	月例業務 報告書	
(7)	事故・不祥事への対応、個人情報保護	<p>○事故・不祥事への対応</p> <p>○個人情報保護</p>	5	4	<p>○事故等があった場合の対応状況及び再発防止策構築状況</p> <p>○個人情報保護についての方針・体制、職員に対する教育・研修体制及び個人情報の取扱いの状況</p>	<p>○独自の個人情報保護規程を定めるとともに、職員が個人情報保護の重要性に対する意識を常に高く保つために、職員研修を定期的実施する。</p>	<p>・財団内の会議を通じて、事故防止対策や不祥事防止対策を行った。</p> <p>・利用申し込みや各種申請等に当たっては、個人情報保護規程に沿った適正な管理を行うとともに、誰もが公正な利用ができるよう透明性の向上に努めた。</p>	<p>・提案書に従って、適切に実施している。</p>	○	○	○	月例業務 報告書

※「事業実績の確認方法(G)」欄のうちの「現地」の欄は、「指定期間 令和3年度の事業実績(E)」欄の実績を現地で確認したことを示すもの。